

第5章 公害の苦情

1. 公害苦情の受理件数

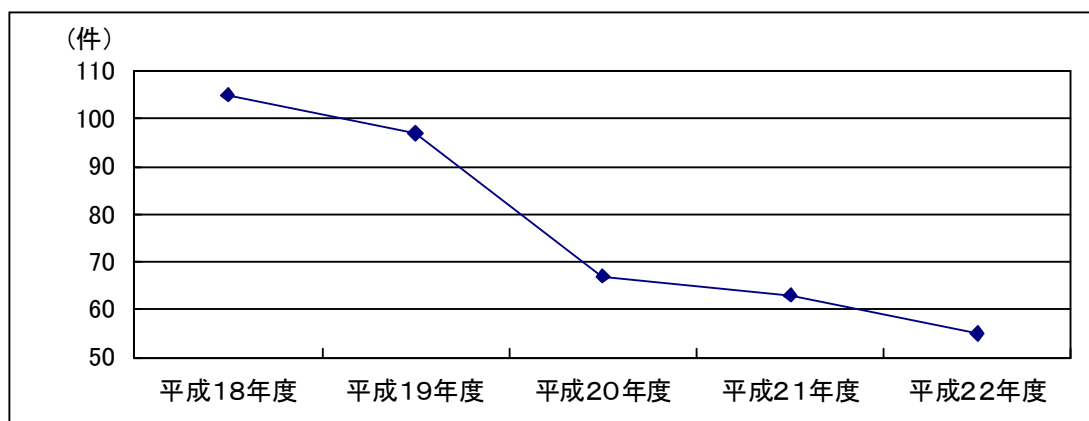
平成22年度に取り扱った苦情件数は55件、そのうち新規直接受理した件数は55件（100%）であり、前年度に比べて8件減少した。

表5-1 受理件数の内訳

年度	合 計	新規直接受理	他からの移送	前年度からの繰越
18	105	105(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
19	97	97(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
20	67	67(100%)	0(0.0%)	3(4.3%)
21	63	63(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
22	55	55(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)

図5-1 新規直接受理件数の経年変化

公害苦情新規直接受理件数



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
件数	105	97	67	63	55

2. 公害の種類別苦情件数

公害の種類別の苦情件数を見ると、焼却行為による大気汚染苦情が多くなっており、次いで悪臭による苦情となっている。

表5－2 種類別苦情件数（新規直接受理）

年度 \ 種別	大気	水質	土壌	騒音	振動	地盤	悪臭	その他	合計
平成18年度	35	13	2	13	5	0	21	16	105
	33%	12%	2%	12%	5%	0%	20%	15%	100%
平成19年度	33	13	0	16	0	0	21	14	97
	34%	13%	0%	16%	0%	0%	22%	14%	100%
平成20年度	29	15	0	7	1	0	7	8	67
	43%	22%	0%	10%	1%	0%	10%	12%	100%
平成21年度	22	12	1	11	3	0	9	5	63
	35%	19%	2%	17%	5%	0%	14%	8%	100%
平成22年度	25	8	0	4	1	0	12	5	55
	45%	15%	0%	7%	2%	0%	22%	9%	100%

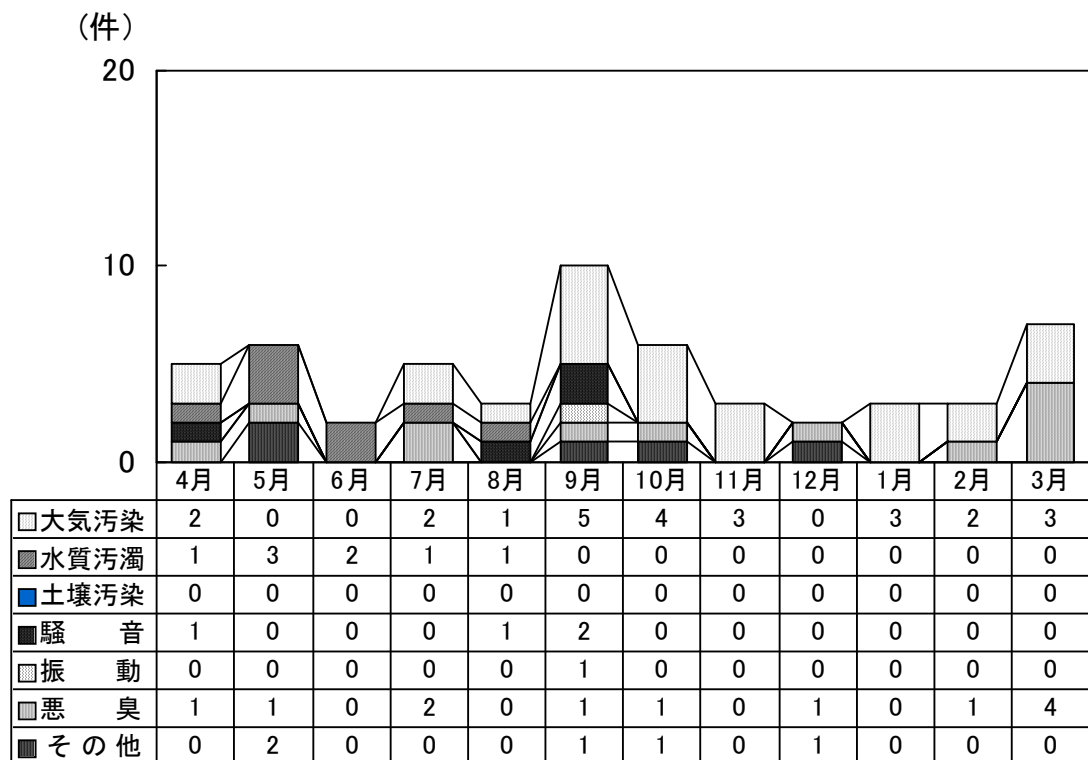
3. 月別苦情受付件数

受理した苦情を月別に見ると、春・秋に苦情が多く寄せられている。

表 5－3 月別苦情件数

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大気汚染	2	0	0	2	1	5	4	3	0	3	2	3	25
水質汚濁	1	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	8
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒音	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	4
振動	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
悪臭	1	1	0	2	0	1	1	0	1	0	1	4	12
その他	0	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	5
合 計	5	6	2	5	3	10	6	3	2	3	3	7	55

図 5－2 月別苦情件数



4. 発生源別苦情件数

新規直接受理件数を発生源別に見ると、平成22年度では家庭生活が一番多くなっており、次いで製造業、サービス業、不明となっている。

表5-4 発生源別苦情件数

年 度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
農業	8	9.8 %	2	1.9 %	7	7.2 %	14	20.9 %	7	10.4 %
建設業	13	15.9 %	13	12.4 %	12	12.4 %	10	14.9 %	6	9.0 %
製造業	11	13.4 %	7	6.7 %	1	1.0 %	3	4.5 %	9	13.4 %
電気・ガス・熱供給・水道業	3	3.7 %	1	1.0 %	1	1.0 %	1	1.5 %	0	0.0 %
運輸業	2	2.4 %	2	1.9 %	0	0.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %
卸売・小売業	6	7.3 %	8	7.6 %	2	2.1 %	3	4.5 %	0	0.0 %
飲食店・宿泊業	8	9.8 %	5	4.8 %	3	3.1 %	2	3.0 %	0	0.0 %
医療・福祉	0	0.0 %	1	1.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %
サービス業	3	3.7 %	4	3.8 %	4	4.1 %	8	11.9 %	8	11.9 %
公務	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %	2	3.0 %	0	0.0 %
家庭生活	17	20.7 %	21	20.0 %	14	14.4 %	3	4.5 %	11	16.4 %
家庭生活のペット	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %
事務所	0	0.0 %	0	0.0 %	1	1.0 %	1	1.5 %	0	0.0 %
道路	1	1.2 %	1	1.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %	0	0.0 %
空地	1	1.2 %	1	1.0 %	2	2.1 %	0	0.0 %	0	0.0 %
その他	8	9.8 %	9	8.6 %	6	6.2 %	6	9.0 %	4	6.0 %
不明	24	29.3 %	22	21.0 %	14	14.4 %	9	13.4 %	8	11.9 %
合計	105	100 %	97	100 %	67	100 %	63	100 %	55	100 %

5. 地域別苦情発生件数

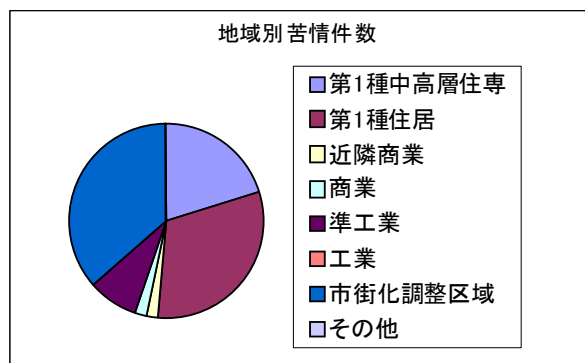
平成 22 年度新規受理した苦情の発生場所をみると、市街化調整区域が 18 件（32.7%）と最も多く、次に第 1 種住居の 15 件（27.3%）と続いている。

表 5－5 被害の用途地域別苦情件数

年度	種別	第1種 低層 住専	第1種 中高層 住専	第1種 住居	近隣 商業	商業	準工業	工業	市街化 調整 区域	その他	合計
平成18年度		7 6.7%	14 13.3%	33 31.4%	2 1.9%	5 4.8%	13 12.4%	3 2.9%	28 26.7%	0 0.0%	105 100%
平成19年度		5 5.2%	12 12.4%	25 25.8%	7 7.2%	7 7.2%	12 12.4%	2 2.1%	27 27.8%	0 0.0%	97 100%
平成20年度		8 11.9%	6 9.0%	15 22.4%	3 4.5%	2 3.0%	8 11.9%	1 1.5%	24 35.8%	0 0.0%	67 100%
平成21年度		3 4.8%	5 7.9%	20 31.7%	1 1.6%	8 12.7%	5 7.9%	1 1.6%	20 31.7%	0 0.0%	63 100%
平成22年度		6 10.9%	10 18.2%	15 27.3%	1 1.8%	1 1.8%	4 7.3%	0 0.0%	18 32.7%	0 0.0%	55 100%

図 5－3 地域別苦情件数

	件数	%
第1種低層住専	6	10.9%
第1種中高層住専	10	18.2%
第1種住居	15	27.3%
近隣商業	1	1.8%
商業	1	1.8%
準工業	4	7.3%
工業	0	0.0%
市街化調整区域	18	32.7%
その他	0	0.0%
合計	55	100%



6. 被害の種類別苦情件数

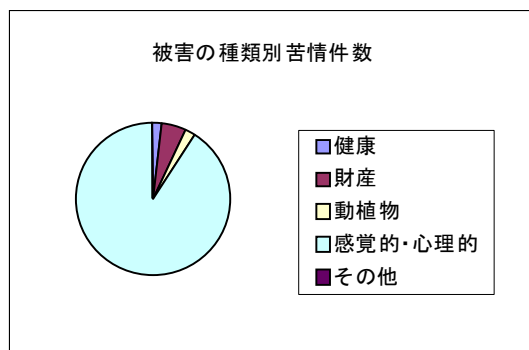
平成 22 年度に新規直接受理した苦情を被害の種類別に見ると、感覚的・心理的な被害（うるさい・臭い・不快などで心身の健康を害するに至らないもの）が 50 件(90.9%)で最も多く、次に財産に関する被害が 3 件(5.5%)と続いている。

表 5－6 被害の種類別苦情件数

年度 \ 種別	健康	財産	動植物	感覚的・心理的	その他	合計
平成 18 年度	0	8	5	92	0	105
	0.0%	7.6%	4.8%	87.6%	0.0%	100%
平成 19 年度	3	6	5	83	0	97
	3.1%	6.2%	5.2%	85.6%	0.0%	100%
平成 20 年度	3	0	6	58	0	67
	4.5%	0.0%	9.0%	86.6%	0.0%	100%
平成 21 年度	0	1	2	58	2	63
	0.0%	1.6%	3.2%	92.1%	3.2%	100%
平成 22 年度	1	3	1	50	0	55
	1.8%	5.5%	1.8%	90.9%	0.0%	100%

図 5－4 被害の種類別苦情件数

	件数	%
健康	1	1.8%
財産	3	5.5%
動植物	1	1.8%
感覚的・心理的	50	90.9%
その他	0	0.0%
合計	55	100%



7. 公害苦情の処理状況

平成22年度で取り扱った苦情件数は55件であり、次年度への繰越は0件であった。

表5-7 受理・処理件数

種 別 年 度	苦情件数 (繰越等含む)	解 決	移 送			その他	繰 越
			国等の 機関へ	警 察	小 計		
平成18年度	105	105	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成19年度	97	94	0	0	0	0	3
	100%	97%	0%	0%	0%	0%	3%
平成20年度	67	67	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成21年度	63	63	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成22年度	55	55	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%